

# 事業名：みえ食と農林水産連携プロジェクト推進事業

担当課：フードイノベーション課

## 1 事業の目的

消費者の参画を容易にするなど、進化させたフードイノベーションネットワークを、実効性のあるものとするため、多様な関係者が緩やかに出会い、つながることのできるオンラインを活用したリアルなマッチングやプロジェクトを創出します。

全国的にも先進的なモデルとなる基盤づくりを展開することで、みえの農林水産業の魅力を高めます。

## 2 事業の必要性

消費者のSDGsを意識した消費や地産地消に対する意識が高まり、農林水産事業者や食品製造、飲食、流通事業者等の実需者は、これまで以上に地産地消や地域の多様な主体による連携、消費者ニーズへ対応が求められています。

## 3 事業の内容

市町、県内農林水産事業者、食品製造事業者、飲食店、流通関係者等の実需者と消費者と連携し、消費者のニーズや農林水産事業者の取組などを伝え合うコミュニケーションクラウドを立ち上げ、農林水産事業者と消費者・実需者の支え合いによる地産地消の取組を進めます。

具体的には、インスタグラムを中心としたオンラインコミュニティを立ち上げ、農林水産事業者の取組を「見せる化」とするとともに、県内農林水産事業者、食品製造事業者、飲食店、流通関係者等の実需者に消費者も参加して交流を行い、消費者ニーズにあった新商品、新サービスの開発に向けて、マッチングやプロジェクト創出を行います。

## 4 事業の効果

- ・県内農林水産事業者と消費者・実需者がクラウド上で、継続的にコミュニケーションを図り、ニーズに沿った商品やサービスを生み出し、支え合いによる持続可能な地産地消が実現します。
- ・県内農林水産事業者が、オンラインを通じて、主体的に自らの商品の高付加価値化につながるパートナーと出会い、新商品、新サービスの開発による「新たな時代」の需要を開拓するビジネスに結び付けることで、「持続可能なもうかる農林水産業」を実現します。
- ・地域の食と農林水産の連携により、農林水産業を起点とした新たなビジネスをめざす若者や、食の安心・安全に関心のある人々から選ばれ、集まる地域となり、地域の活性化につながります。

## 5 事業実施期間

令和3年4月 ～ 令和6年3月